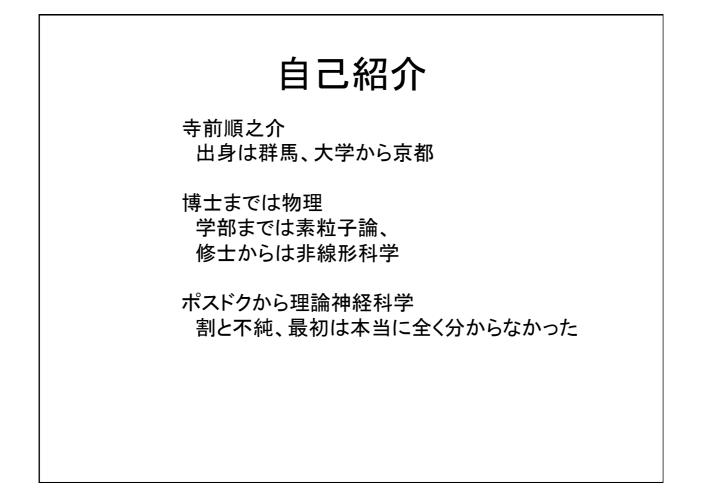
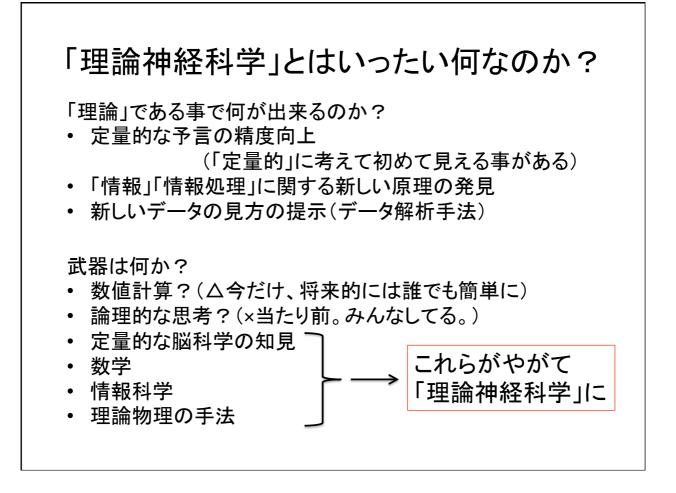
神経情報処理の舞台を探る -自発発火と皮質回路のコラボレーション-

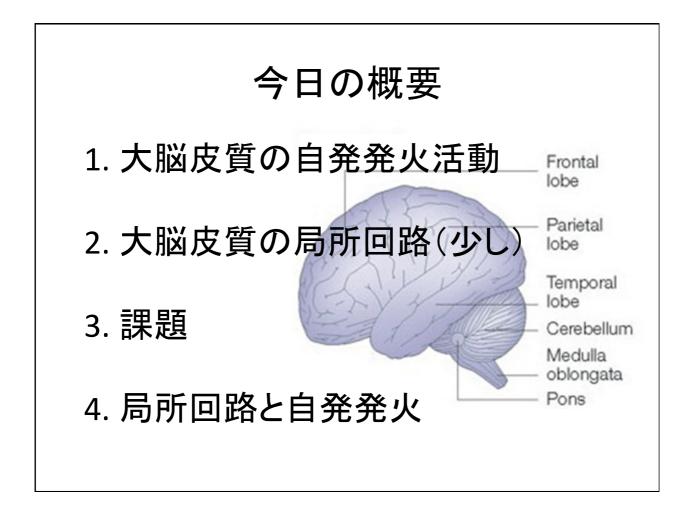
理化学研究所BSI、JSTさきがけ 寺前順之介

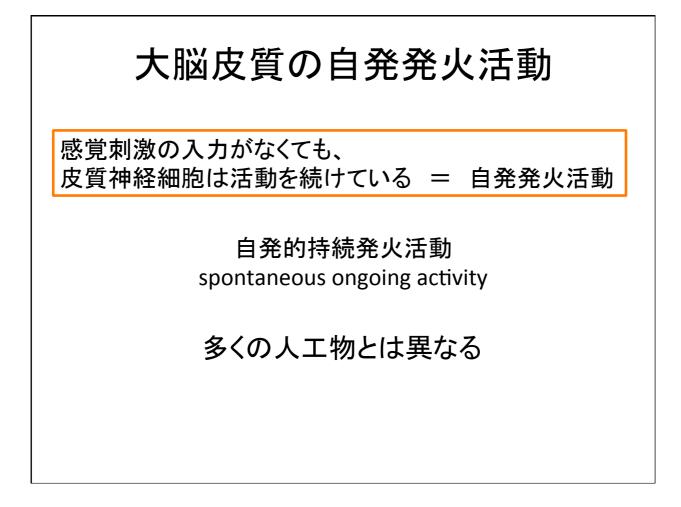
(コメント質問等は

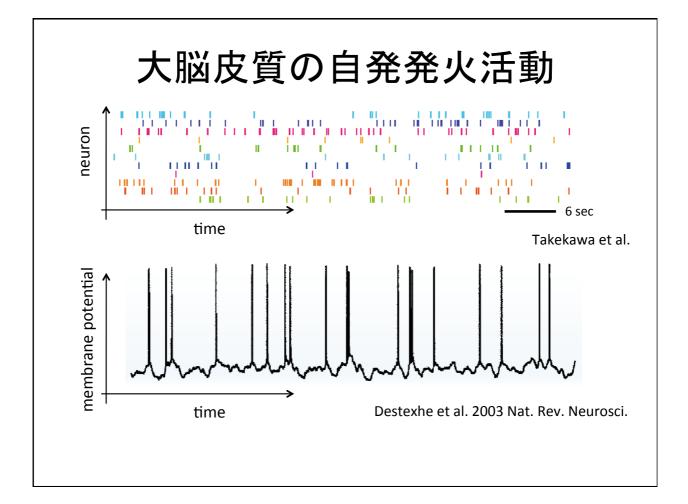
teramae@riken.jp)

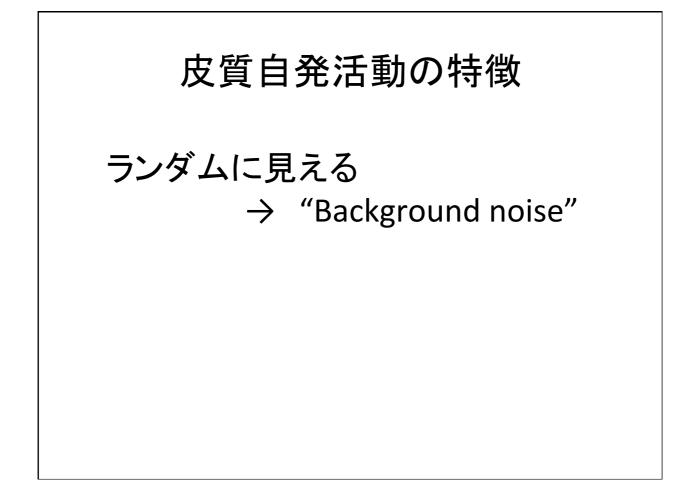


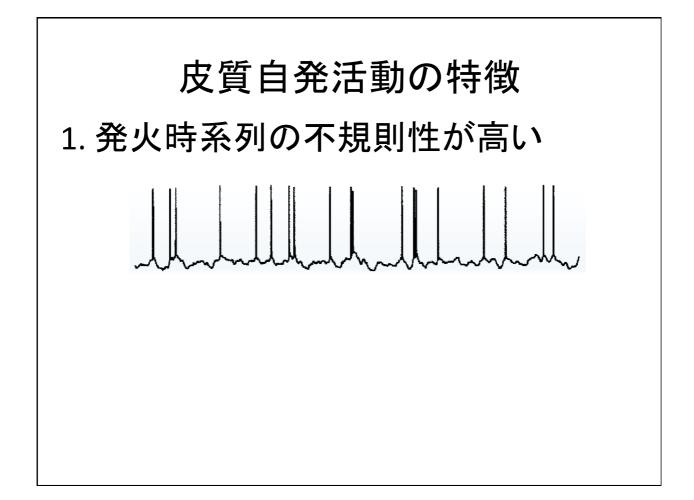


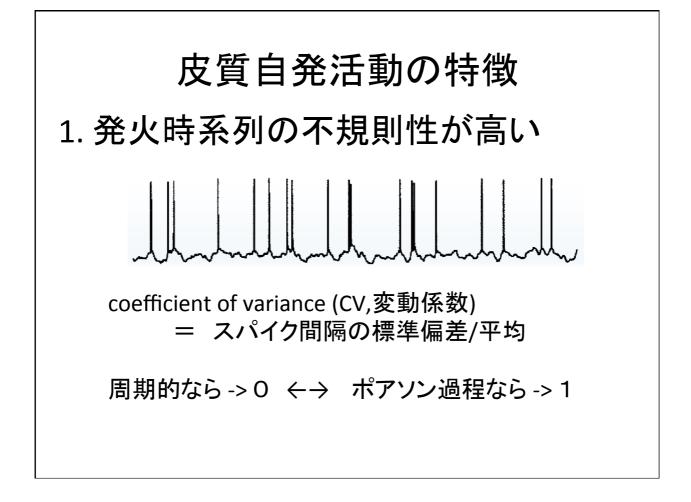


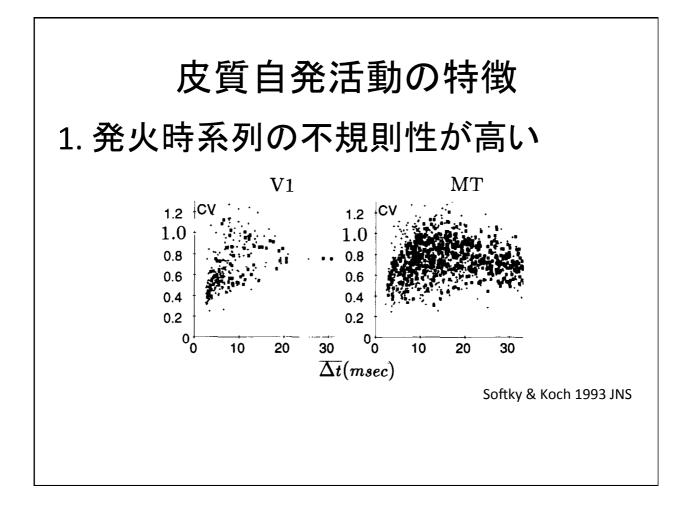


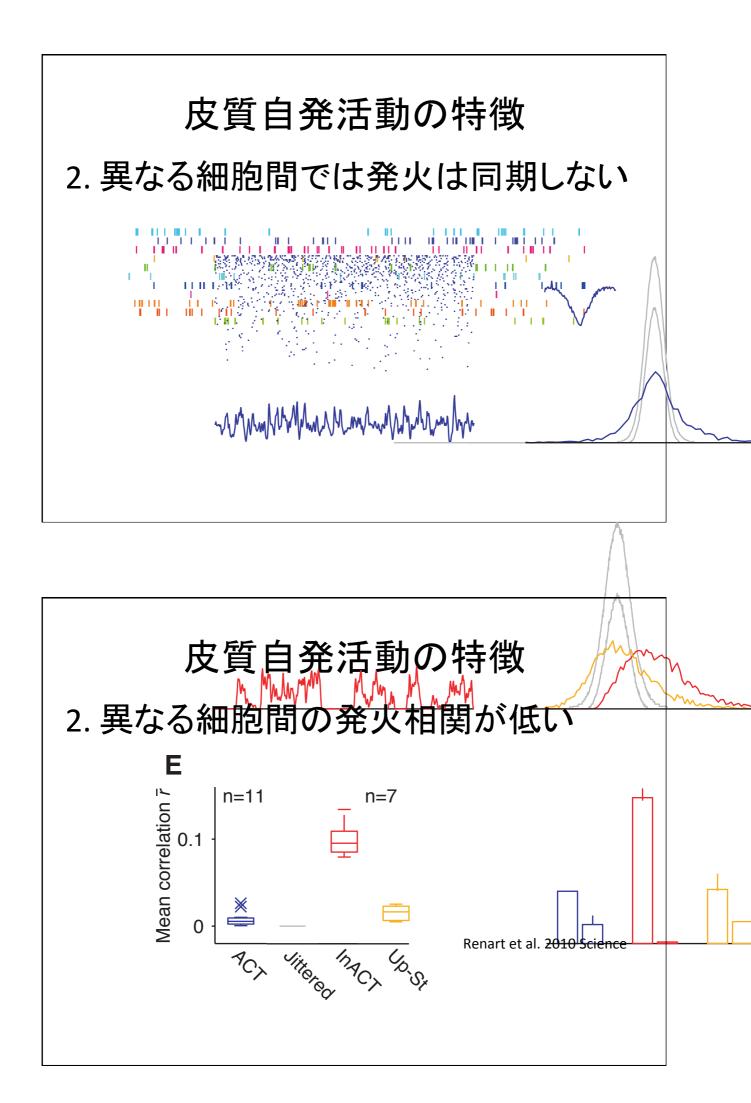


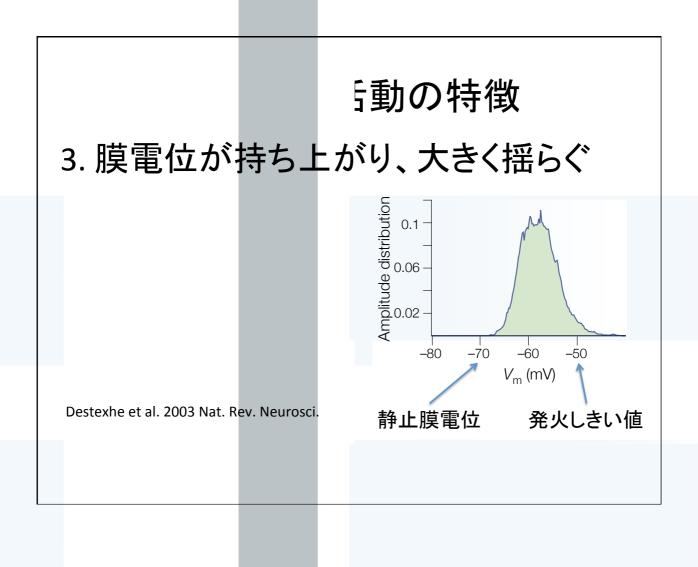




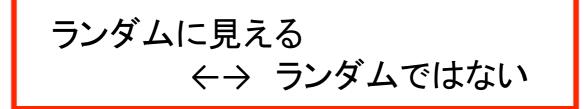


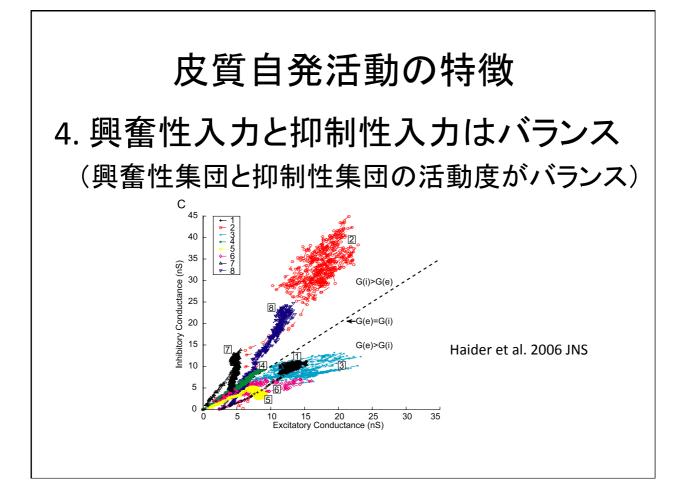


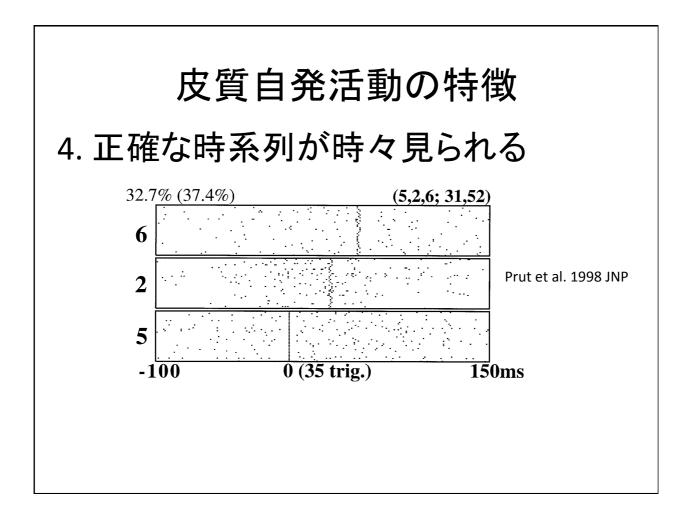


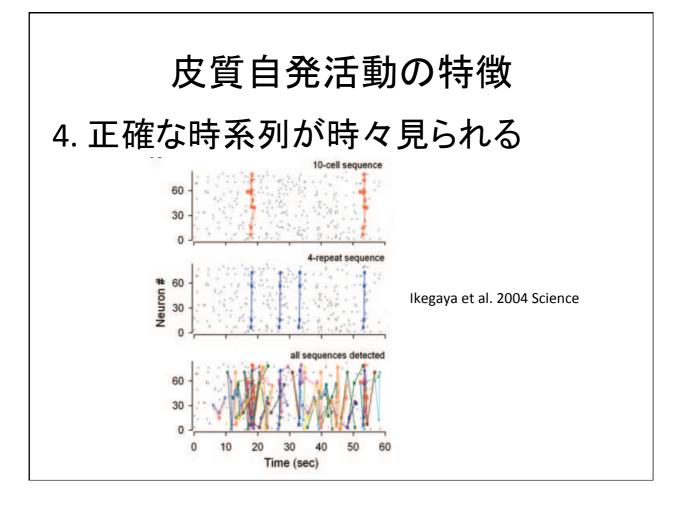


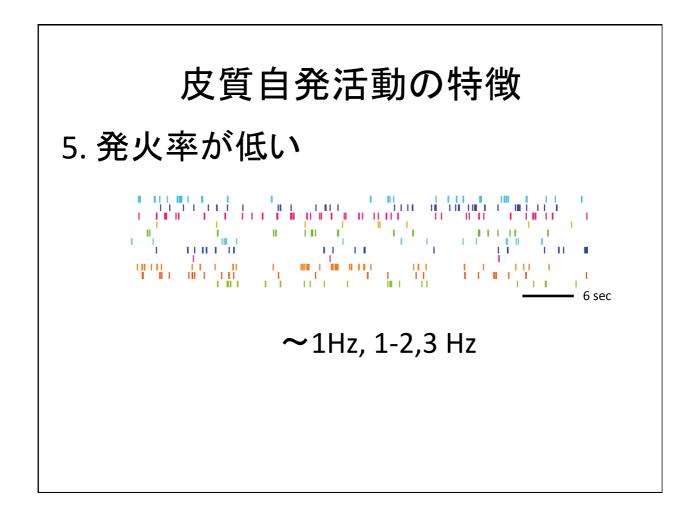
皮質自発活動の特徴

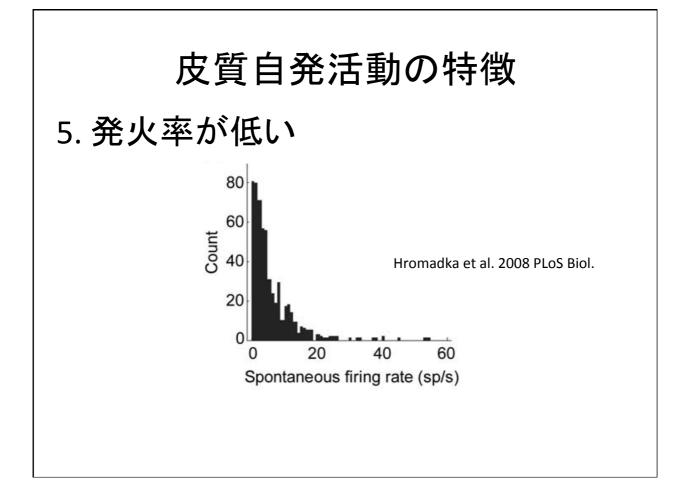














皮質自発活動の特徴

発火時系列の不規則性が高い
異なる細胞間での相関が低い
膜電位が持ち上がり、大きく揺らぐ
興奮と抑制のバランス
正確な時系列もある
発火率が低い
ここまでは、ダイナミクスの特徴。

